

市長と地域の懇談会【高城】

・開催日時 令和2年10月5日（月） 19：00～20：00

・まちづくり協議会区域名 高城まちづくりの会（今一色）

・会場 今一色公民館

・参加者 12人

《質問・意見》

・旧今一色小学校の取り壊しはいつ決まったのか。その理由と、区民にいつどのような方法で周知されたのか、昨年同様の質問に、市は区に回答しているが内容は如何。また、グラウンドの跡地利用について伺いたい。

《回答》

・少子高齢化が進む中、20年後、30年後の伊勢市の字別の人口を推計し、子どもの数に合わせて小中学校の統廃合を進めることとした。今一色は、複式学級が予想されるなど、当初予定した数より減少することが明らかになったため統合を行った。

・沿岸部の校舎には避難階段など防災機能を持たせるとともに、8地域に避難タワー等を建設した。地域の皆さんが避難タワーへ避難できることから、旧校舎の除去を行うこととしている。今一色の校舎も基本的には除去する方向である。

・用地は地域により歴史があり、今一色の場合は、公共用地以外の所有権もある。グラウンド跡地の利用については要望いただきながら協議・調整させていただくことになる。

・いつどのように周知されたのかは、担当課から連絡させていただく。

《質問・意見》

・防護ネットの取り付け等どこへ話ししたらよいか。校舎の取り壊し時期は。

《回答》

・資産経営課が管理となっている。取り壊し時期は次年度予算が出てきた後での確認としたい。

《質問・意見》

・高齢化により、側溝のコンクリート蓋を開けることができないため、ここ数年側溝の掃除ができていない。防災の観点から浸水する恐れもあるため、市により点検を行ってほしい。

《回答》

- ・点検はさせることができる。できれば点検個所を絞って貰いたい。

《質問・意見》

- ・校舎除去に際して、遊具も撤去されると聞いているが、区民のために校舎の北側に遊具を設置してほしい。また、スポ少活動のため校舎側にネットフェンスの設置をお願いしたい。
- ・懇談会の回答は文書で頂戴することが多く、市から一方的な回答で終わることが多い。説明に来ていただき、まち協などのメンバーとディスカッションしながら、落としどころを決める場を作れないか。

《回答》

- ・跡地については、全部が市有地ではないため、要望いただき、どういう形で協議調整ができるのか、調整の機会を持っていくことになる。
- ・回答方法については、文書回答の上、地域の要望に応じ担当課が出向く。

《質問・意見》

- ・小学校は避難場所指定されているが地域内で一番低い場所であるため、風水害時には、避難が可能な、早めの避難指示をしてほしい。
- ・今一色排水機場に至る水路は勾配があまりなく流れが悪い。29年の大雨の際、越水もあった。改修予定と聞いているが、以前からポンプの増設、設置位置を高くすることなど要望しているが実現されない。また、途中の土手をかさ上げできないか。また、個人から増水の状況を把握できる仕組みづくりなどできないか。

《回答》

- ・市内全体の被害状況により浸水対策の順はあるが、排水機までの勾配の調査が可能かどうか、担当課へ伝える。
- ・避難の在り方については、例えば台風に備え、明るい時間帯に自主避難所を開設している。また、国では避難所だけでなく、ご近所への避難が可能となるよう関係性を作っていただくなどの話もある。高齢者が多い中、どうやって避難するかは重要な課題、地域の皆さんと協議しながら進めていきたい。また、継続的に避難訓練も一緒にやっていきたい。

《質問・意見》

- ・保育園が閉園となる中、自治会で利用方法を協議したが意見は出なかった。知り合いの民間に話をしてみようかという話がでた。借用、譲渡など、民間利活用の場合どちらの方針か聞きたい。
また、詳しい話を聞きたい場合、自治会が仲介すべきか。

《回答》

- ・先に資産経営課へ相談してほしい。

- ・まず今後の方向性を確認してほしい。

《質問・意見》

- ・まち協と自治会などの組織が重なり、役員などかみ合い、立ち位置が難しい面がある。行政側からもう少し明確な姿勢があったらと思う。
- ・伊勢二見鳥羽ライン二見 IC の旧料金所あたりの松の木が枯れ、雑草が伸びている。二見の玄関口でありイメージが悪い。管理者へ伝え解決してほしい。
- ・小学生はバス通学となり、農免道路を大型バスが日々通行している。対面場所もなく、危ない面もある。産業道路にはできないだろう。新たに道路整備する考え等あるのか。

《回答》

- ・平成 23 年度から開始し 10 年近くたち、自治会とまち協の役割分担や、行政との関係性については、良い部分や、課題も見えてきた。どういった形で行政が関わっていくのが一番適切なのか、今後の議論のテーマにさせていただく。
- ・管理者の三重県に伝える。
- ・通学路については、高台移転後の通学路は決定されていない。教育委員会に検討を伝える。

《質問・意見》

- ・空き家対策として調べてもらっているが今は 100 件を超えていると思う。今一色の住民を増やすために、リフォームや借家などの活用を考えたい。
- ・震災時に空き家が老朽化し、倒壊被害などの可能性があるが危険個所についてどのように考えているか。

《回答》

- ・約 5 年前から空き家調査を行っている。危険な状態の空き家は、特定空き家に指定し、役所から所有者に除去依頼している。特定空き家の指定は 2 桁になっている。税納付書送付時に、空き家とならないよう、相続などは早めに考えておいてほしい旨文書を同封している。
- ・相続人と連絡が取れないなど、建物倒壊の危険がある場合、行政代執行の方法もあるが、準備に 1 年半程必要となる。空き家の除去を全件市が処理することはできないためバランスが大切である。宅建業界、不動産関係団体と協定を結び、空き家バンクや空き家相談会など行っている。空き家相談には多くの相談があり、場所にもよるが 10 数件売買が成立する場合もある。様々な取り組みを進めていきたい。地元の声が一番大切と思っていることから、何かにつけてお知らせいただくと大変ありがたい。

《質問・意見》

- ・漁港の近くの漁船用スロープに水上バイクの団体がやってくる。騒音や、駐車マナーが悪いなど、困っている。また、漁民の高齢化により、漁船用スロープは最近活用がないが、漁具など置いてあり雑草が生えているなどしている状況、管理者へ伝え対策してほ

しい。

《回答》

- ・ 三重県管理の部分がある。伝達させていただく。